

平成21年12月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年11月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社paperboy & co.

コード番号 3633 URL <http://www.paperboy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長

(氏名) 久保田 文之

TEL 03-5456-3021

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	2,025	—	449	—	450	—	262	—
20年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	198.19	—
20年12月期第3四半期	—	—

(注)当社は、20年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、20年12月期第3四半期及び21年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	2,085	864	41.4	652.30
20年12月期	1,734	707	40.8	534.11

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 864百万円 20年12月期 707百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	80.00	80.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	17.4	535	16.7	535	23.5	300	25.7	226.42

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第3四半期	1,325,000株	20年12月期	1,325,000株
② 期末自己株式数	21年12月期第3四半期	—株	20年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第3四半期	1,325,000株	20年12月期第3四半期	1,275,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想の業績と異なる場合がありますのでご了承下さい。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の大幅な減少が続いているものの、そのテンポは緩やかになっております。また雇用情勢は一段と厳しさを増してきている反面、個人消費は、経済対策の効果もあり、消費者マインドにも持ち直しの動きがみられております。

インターネット関連業界におきましては、総務省の平成20年「通信利用動向調査」によりますと、インターネットの利用者は9,091万人、人口普及率は75.3%に達しており、情報通信技術を積極活用し、インターネットによる電子商取引の活性化や、ミニブログと呼ばれるコミュニケーションツールの流行が顕著にみられております。

このような事業環境のもと、当社はEC支援事業における集客機能の強化やレンタルサーバーサービスの容量拡充、機能強化に注力し、契約件数の更なる獲得を図りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高2,025,935千円、営業利益449,861千円、経常利益450,815千円、四半期純利益262,600千円となりました。

(事業部門別の状況)

(1) ホスティング事業

ホスティング事業におきましては、「ロリポップ！」サービスサイトのリニューアルや、「ムームードメイン」での割引キャンペーン等を実施いたしました。顧客の利便性と新規顧客獲得のための活動を継続的に行い、当第3四半期累計期間では、レンタルサーバーサービスの契約件数は約24,000件増加し約291,000件、ドメインサービスで登録ドメイン数が約97,000件増加し約499,000件となりました。

この結果、当第3四半期累計期間におけるホスティング事業の売上高は1,603,401千円となりました。

(2) EC支援事業

EC支援事業におきましては、「Color Me Shop! pro」にて商品一括登録数の上限増加や、在庫管理における検索条件の増加等、顧客からの要望が高かった機能の拡充を行い、「カラメル」では送料無料キャンペーンや、第2四半期に提供を開始した「カラメルアフィリエイト」のデザインフレームの拡充を行いました。また、「カラメル」など複数のショッピングサイトでログイン状態を保持することができる「シングルサインオン」機能や、数回のクリックで商品の購入が完了する「クイック購入」機能を導入しております。各サービスの機能強化と消費者の利便性向上のための活動を重点的に行い、当第3四半期累計期間では、「Color Me Shop! pro」の契約件数は約5,000件増加し約24,000件、「カラメル」の店舗数は約1,300件増加し、9,100件となりました。

この結果、当第3四半期累計期間におけるEC支援事業の売上高は299,070千円となりました。

(3) コミュニティ事業

コミュニティ事業におきましては、ブログサービス「JUGEM」にてブログテンプレートの拡充を行い、有料版「JUGEM PLUS」では高機能アクセス解析「アクセスログ・プラス」を提供開始するなど、積極的に機能拡充を行いました。当第3四半期累計期間では、「JugemKey ID」数は約304,000件増加し、約1,462,000件となりました。また「Grouptube」においては、スケジュール機能の強化等を引き続き行っております。

この結果、当第3四半期累計期間におけるコミュニティ事業の売上高は123,463千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ351,625千円増加し、2,085,706千円となりました。主な増加要因は、売上及び利益の増加による「現金及び預金」の増加253,012千円及び「売掛金」の増加50,591千円、サービス用サーバー投資による「工具器具及び備品」など有形固定資産の増加23,405千円、自社利用サービスのソフトウェア開発投資による「ソフトウェア」など無形固定資産の増加14,395千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ195,024千円増加し、1,221,403千円となりました。主な増加要因は、会員数の増加等に伴う「前受金」の増加89,684千円、利益増加に伴う「未払法人税等」の増加12,204千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ156,600千円増加し、864,303千円となりました。これは、剰余金の配当により106,000千円減少したものの四半期純利益262,600千円を計上したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、1,536,728千円と前事業年度末と比べ253,012千円の増加となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた現金及び現金同等物は、436,237千円となりました。これは主に、有料会員数等の増加等に伴う売上債権の増加による50,591千円の減少、前事業年度に係る法人税等の支払による182,533千円の減少、有料会員数増加に伴う前受金の増加による89,684千円の増加や税引前四半期純利益450,511千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した現金及び現金同等物は、77,584千円となりました。これは主に、自社利用サービスのソフトウェア開発投資など無形固定資産の取得に関する支出が33,607千円、サービス用サーバー投資など有形固定資産の取得に関する支出が38,614千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した現金及び現金同等物は、105,640千円となりました。これは、前事業年度の配当金の支払いによる支出が105,640千円あったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移しておりますので、平成21年2月12日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,536,728	1,283,715
売掛金	311,151	260,560
前払費用	26,983	23,842
その他	24,793	19,116
流動資産合計	1,899,657	1,587,234
固定資産		
有形固定資産	59,782	36,377
無形固定資産	85,263	70,867
投資その他の資産	41,003	39,602
固定資産合計	186,049	146,847
資産合計	2,085,706	1,734,081
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	112,500	100,295
賞与引当金	18,000	—
役員賞与引当金	12,400	—
前受金	727,563	637,878
その他	350,940	288,204
流動負債合計	1,221,403	1,026,379
負債合計	1,221,403	1,026,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	118,153	118,153
資本剰余金	108,153	108,153
利益剰余金	637,996	481,396
株主資本合計	864,303	707,702
純資産合計	864,303	707,702
負債純資産合計	2,085,706	1,734,081

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,025,935
売上原価	883,337
売上総利益	1,142,597
販売費及び一般管理費	692,735
営業利益	449,861
営業外収益	
受取利息	3
受取手数料	297
雑収入	807
その他	34
営業外収益合計	1,143
営業外費用	
消費税等調整額	181
その他	8
営業外費用合計	189
経常利益	450,815
特別損失	
固定資産除却損	304
特別損失合計	304
税引前四半期純利益	450,511
法人税、住民税及び事業税	194,499
法人税等調整額	△6,588
法人税等合計	187,910
四半期純利益	262,600

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	450,511
減価償却費	37,716
固定資産除却損	304
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,400
受取利息	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	△50,591
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,443
前受金の増減額 (△は減少)	89,684
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	59,013
その他	288
小計	618,767
利息の受取額	3
法人税等の支払額	△182,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	436,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△38,614
無形固定資産の取得による支出	△33,607
敷金及び保証金の回収による収入	△4,233
その他	△1,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△105,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,640
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,012
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,536,728

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

当社は、平成21年12月期より四半期財務諸表を作成しているため、「参考資料」については記載しておりません。

6. その他

当第3四半期累計期間における事業部門別の販売高は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

事業部門	当第3四半累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額	構成比
ホスティング事業	1,603,401	79.1
EC支援事業	299,070	14.8
コミュニティ事業	123,463	6.1
合計	2,025,935	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。